

鳩山一郎 鳩山 一郎 政治家。明治十六年一月一日東京生れ、昭和二十四年二月七日歿（八三—一九九）。鳩山初夫の長男。明治四十年東京帝國大學法科大學英法科卒。辯護士等を経て大正四年衆議院議員（當選十五回）、書記官長、文相歴任。戦後日本自由黨、日本民主黨各總裁、昭和二十九年首相、翌年自由民主黨を結成、三十二年總裁となり日本國交回復を實現。

著書『普選の第一戰陣我々斯く戦へり』（合著、昭和二年二月八日朝日新聞社「朝日民衆講座」）、『スホーツを語る』（昭和七年九月一日三省堂）、『外遊世界の顔』（山浦實一編、昭和十三年二月二十一日中央公論社）、『時局の白眼』（合著・朝新聞社編、昭和十四年十一月一日秋風園出版社）、『私の自叙傳』（昭和二十六年六月二十日改造社）、『私の信條』（昭和二十七年六月一日東京文庫）、『あゝ代議士の生活と意見』（昭和二十七年十一月十五日東京出版株式會社）、『デーモンホナ・カレルギ著』自由と人生』（譯、昭和二十八年一月一日乾元社）、『某の某自』（合著・海口茂輝編、昭和三十一年四月一日自由日本経済新聞社）、『鳩山一郎回顧録』（昭和三十一年十月二十日文藝春秋新社）等。

